第４６回全日本バレーボール小学生大会山口県決勝大会

競技･審判上の注意

１　本大会は、２０２６年度（公財）日本バレーボール協会の６人制規則および小学生バレーボール競技規則による。選手は１４名以内とする。

２　試合球は、男子の部および混合の部はミカサ、女子の部はモルテンを使用する。

３　サービスゾーンは、エンドラインから６．５m以内の範囲とする。

４　参加申込みメンバーの変更有無にかかわらず大会１日目の受付時に「エントリー変更届」を提出すること。なお、メンバーの変更がある場合は、JVA－MRS の「チーム所属メンバー一覧」を添付すること。

５　監督・コーチ・マネージャーは、マークを必ず左胸に着け、統一した服装（タンクトップのような形状のシャツ類、短パン、キュロットは不可。ライン・ロゴ等も統一）でベンチ入りすること。

６　ベンチスタッフは、JVA－MRS 登録並びに宣誓書に署名しているものに限り、監督は、今年度の監督・チーム研修を受講していなければならない。

７　監督・コーチ・マネージャーのうち１名以上は、(公財）日本バレーボール協会ならびに（一社）日本小学生バレーボール連盟が共催する指導者研修会の受講証明書を所持し、試合中には胸に下げていなければならない。((公財）日本スポーツ協会の指導員資格も可）（受講証明書を本人が受付時に提示のこと）

８　競技フロアに入れるのは、原則として、エントリーされた者のみとする。

９　次の試合のチームは、前試合の両チームがコートを退き、コートチェック終了後に競技役員の指示に従ってコートに入ること。

１０　公式練習前の練習は、同一フロアのいずれかのコートが試合中であればパスのみとする。また、ネットを利用した練習は禁止する。

１１　公式練習終了後は、ボール籠は防球フェンスの外に置くこと。また、ドリンクなどの荷物はアップゾーンに置くこと。

１２　控えの選手は、座って観戦すること。アップをする場合はアップゾーンで行うこと。

１３　リードするチームが１・２セットは１１点、３セットは８点の時にセーフティータイムアウトを健康管理のために適用し、ベンチスタッフは選手の健康管理を実施し、また、給水を妨げてはならない。なお、給水場所はベンチ横のシート上とする。

１４　準決勝、決勝以外は原則として相互審判とする。第１試合の審判（ファーストレフェリー・セカンドレフェリー・ラインジャッジ・スコアラー）は、組合せ表の○印チームが行う。以後、前試合の敗者チームが行うことを原則とする。なお、細部については、審判委員長の計画による。

１５　派遣審判員及び帯同審判員については、審判服を着用すること。ただし審判服を保有しない者については、上が白の襟付きシャツ、下は紺のズボンも可とする。

１６　各チームとも競技の円滑な進行に協力すること。

１７　各チームの横断幕の掲示は、自チームの試合時のみとする。

１８　体育館での上下足の区別を必ず行うこと。

１９　ゴミは、各チームで必ず持ち帰ること。

２０　体育館は公共の施設である。マナーを守り大切に使用すること。また、電源の使用は固く禁じる。